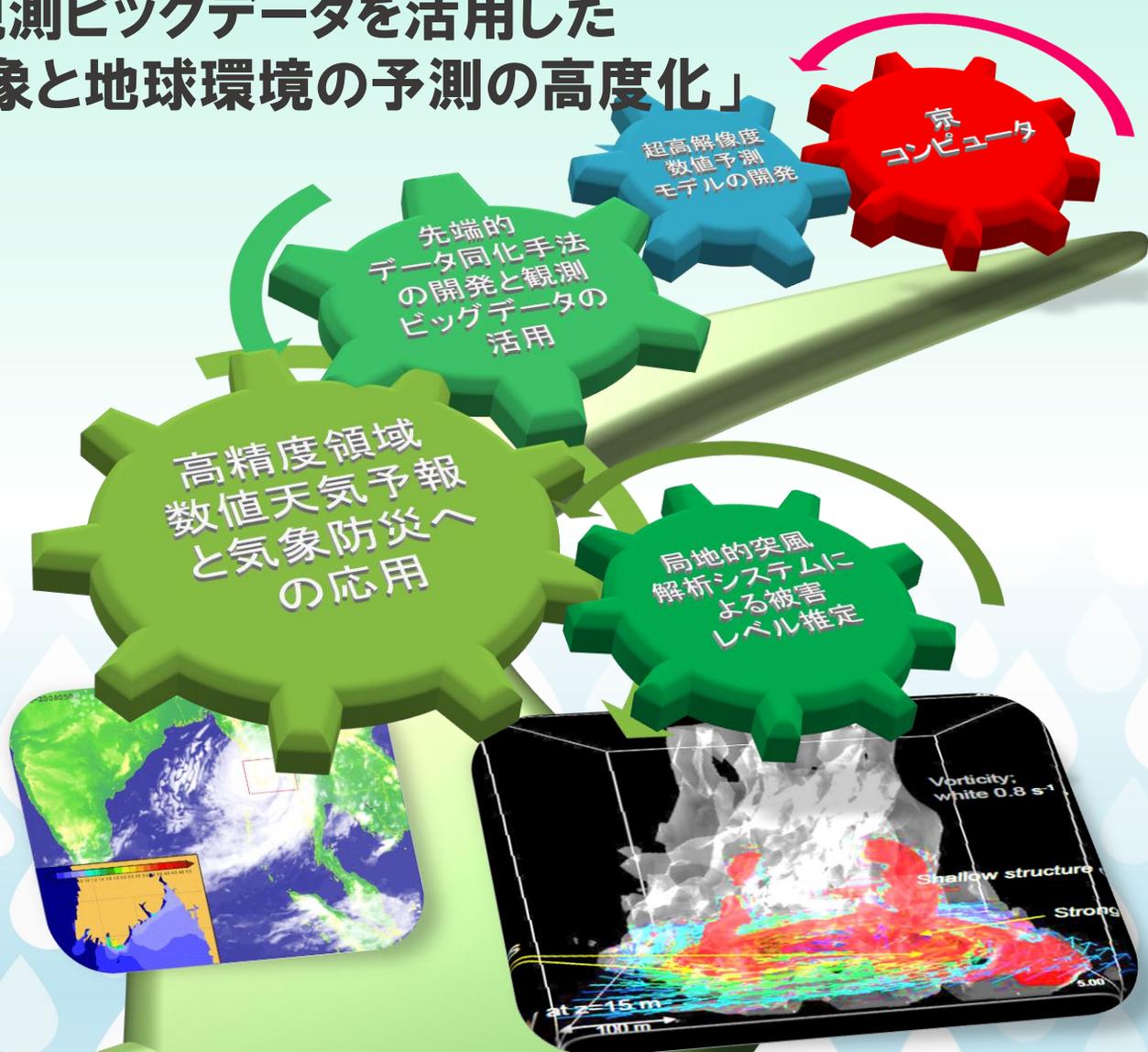


ポスト「京」重点課題4

「観測ビッグデータを活用した 気象と地球環境の予測の高度化」



第1回 革新的な数値天気予報と 被害レベル推定に基づく 高度な気象防災 成果発表会

平成29年2月20日（月）

- ・会場：平成29年2月20日 秋葉原 UDX ギャラリー-NEXT-1
- ・入場無料
- ・主催：国立研究開発法人海洋研究開発機構

第1回 革新的な数値天気予報と被害レベル推定に基づく 高度な気象防災 成果発表会 プログラム

2月20日(月) 10:00-10:25	挨拶 研究説明	高橋桂子 (海洋研究開発機構) 瀬古弘 (海洋研究開発機構/気象研究所)
10:25-11:20	先端的データ同化手法の開発と観測ビッグデータの活用	座長 三好建正 (理化学研究所 計算科学研究機構)
11:20-12:05	超高解像度数値予測モデルの開発と顕著現象の機構研究	座長 新野宏 (東京大学)
13:10-13:50	招待講演 気象衛星ひまわり8号の観測ビッグデータ	上出一美 (気象庁気象衛星センター)
13:50-14:15	気象衛星ひまわり8号の観測ビッグデータを用いた成果	座長 瀬古弘 (海洋研究開発機構/気象研究所)
14:15-16:05 (途中休憩あり)	高精度領域数値天気予報と気象防災への応用	座長 斉藤和雄 (気象研究所/海洋研究開発機構)
16:05-16:35	気象データマイニング局地的突風解析システムによる被害レベル推定	座長 田村哲郎 (東京工業大学)
16:35-16:50	総合討論	瀬古弘 (海洋研究開発機構/気象研究所)

招待講演

平成27年7月に運用を開始した「ひまわり8号」は、衛星から見える地球全体を10分毎、日本周辺を2.5分毎という、これまでにない高頻度で観測しています。水平解像度も0.5-2kmと高密度で、観測しているチャンネル数も大幅に増加しています。このプロジェクトでは、ひまわり8号データを利用していますが、本講演では、ひまわり8号で何が見えるのか、何が変わるのかなど、新しいひまわりについて、ご紹介いたします。

開催日時

平成29年2月20日 10:00~16:50 (9:30開場)

開催場所

秋葉原 UDX ギャラリー-NEXT-1 (4F)

住所: 〒101-0021 東京都千代田区外神田4-14-1

<http://www.udx-n.jp/access.htm>

参加申し込み

成果発表会への参加を希望する方は、
下記までご連絡ください。

※定員に達しましたら、締切とさせていただきます。

気象研究所予報研究部 瀬古 弘

TEL: 029-853-8640

FAX: 029-853-8649

E-mail: hseko@mri-jma.go.jp

